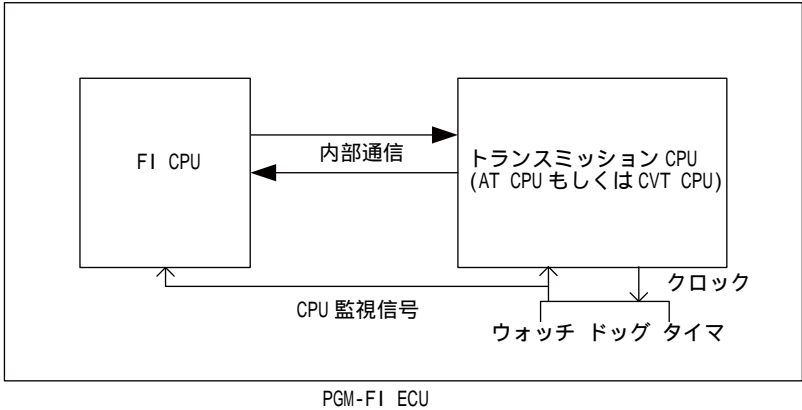


DTC 解説

DTC P060A: ECU 内部回路異常 (トランスミッション CPU)

検知原理解説



01_P060AG_SYYB00

PGM-FI ECU 内部における FI CPU とトランスミッション CPU 間の内部通信に異常が発生し、内部通信が設定時間以上途切れた場合、内部通信受信データが不正な場合、もしくはトランスミッション CPU 監視ウォッチ ドッグ タイマが異常を検知し FI CPU にトランスミッション CPU 監視信号線で通知した場合、PGM-FI ECU は故障と判定し、DTC をストアする

検知頻度・検知順序・検知所要時間・検知手法種別・ OBD ステータス

検知頻度	常時
(当該 DTC の) 検知順序	なし
検知所要時間	1 秒間以上*、0.2 秒間以上**
検知手法種別	1D/C(単一検知手法)、PGM-FI 警告灯：点灯
OBD ステータス	正常判定、故障判定、未完了

D/C: Drive Cycle(ドライブ サイクル)

*：ケース 1

**：ケース 2

検知実行条件

条件項目	下限	上限
バッテリー電圧 [バッテリ電圧]	10.0V	
イグニッション スイッチ	ON(I)	

[]: HDS パラメータ

故障判定基準

次のいずれかの場合。

- ・ ケース 1
FI CPU とトランスミッション CPU 間の内部通信が異常な状態で 1 秒間以上継続した場合。
- ・ ケース 2
ウォッチ ドッグ タイマがトランスミッション CPU の異常を検知し、FI CPU が信号線を経由して受信した状態で 0.2 秒間以上継続した場合。

推定故障部位

- ・ PGM-FI ECU 内部回路の故障
- ・ PGM-FI ECU(FI / トランスミッション CPU プログラム) 書換え未完了
- ・ トランスミッション CPU の故障

DTC 解説

DTC のストアとクリア

DTC のストア

車両が故障と判定した場合、PGM-FI 警告灯が点灯し、PGM-FI ECU メモリにテンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがストアされる。

DTC のクリア

車両が連続した 3D/C の走行で故障診断を行い正常と判定した場合、PGM-FI 警告灯は消灯する。また、スキャン ツール (HDS を含む) のクリア コマンドの使用、もしくはバッテリー端子の取外しにより PGM-FI 警告灯、テンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがクリアされる。